



2024年9月期 3Q決算説明会

2024年8月7日（水）

証券コード：9438

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

目次

3Q決算概要 … P2

決算ハイライト
連結PL
連結販管費内訳
通期業績予想の修正
セグメント別業績

今後の取り組み … P18

FY2024基本方針と重点課題
クラウド薬歴
母子手帳アプリ+子育てDX
学校DX事業

中期的な収益イメージ … P27**付属資料** …P30

連結BS
連結PL推移
連結販管費推移
セグメント別業績
FY2024業績予想
主なヘルスケアサービス一覧
ヘルスケアサービス全体像
クラウド薬歴
母子手帳アプリ+子育てDX
学校DX事業

3Q決算概要

2024年9月期 第3四半期の決算概要についてご説明します。

決算ハイライト

1 3Q業績 売上高横ばい、利益大幅増益

	実績	前年同期比	増減率
売上高：	20,536百万円	+398百万円	+2.0%
営業利益：	1,752百万円	+1,770百万円	-%
親会社株主に帰属する 四半期純利益：	2,243百万円	+1,748百万円	+353.0%

2 通期業績予想を上方修正

		直近予想比
売上高：	27,500百万円	+500百万円
営業利益：	2,200百万円	+400百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益：	2,400百万円	+650百万円

3 3Q取り組み実績

- ・ヘルスケア事業： クラウド薬歴は好調（導入店舗数は過去最高）
- ・学校DX事業： 2024年4月の導入学校数により売上高拡大、黒字転換

Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

3

決算ハイライトです。

【1】

第3四半期の売上高は前年同期比では微増となり、利益は大幅増益となりました。

【2】

決算の内容を踏まえ、通期の業績予想について、売上高・利益ともに上方修正します。

【3】

第3四半期の主な取り組みは、ヘルスケア事業では、クラウド薬歴の薬局への導入が好調に推移し、四半期ベースで過去最高となりました。

学校DX事業では、フルクラウド型校務支援システム『BLEND』の、4月の新規導入学校数が拡大しました。

それぞれの具体的な取り組み内容については、後ほどご説明します。

連結PL

売上高：横ばい
営業利益、経常利益、四半期純利益：大幅増益

(単位：百万円)	FY2023 3Q累計	FY2024 3Q累計	前年同期比		
			金額	増減率	
売上高	20,138	20,536	+398	+2.0%	前期： 739百万円:動画配信のスポット売上高を計上
売上原価	6,495	5,443	△1,051	△16.2%	・法人向けDX支援事業の赤字案件収束 ・前期： 649百万円:動画配信のスポット売上原価を計上
原価率	32.3%	26.5%			
売上総利益	13,643	15,093	+1,449	+10.6%	
利益率	67.7%	73.5%			
販管費	13,661	13,340	△320	△2.3%	人件費、開発費の減少
販管费率	67.8%	65.0%			
営業利益	△17	1,752	+1,770	-%	
利益率	△0.1%	8.5%			
経常利益	151	2,363	+2,211	-%	持分法による投資利益の増加 (+537百万円)
利益率	0.8%	11.5%			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	495	2,243	+1,748	+353.0%	
利益率	2.5%	10.9%			

Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

連結PLです。

売上高は、ヘルスケア事業や法人向けDX支援事業における売上伸長により、前年同期比微増の205億3,600万円となりました。

売上原価は、大幅に減少しました。

前年同期では、動画販売のスポット売上に伴う原価を計上していましたが、その影響がなくなったこと、また、法人向けDX支援事業の赤字案件が収束したことによるものです。

その結果、売上総利益は、10.6%増の150億9,300万円となりました。

営業利益は、売上総利益の増益および販管費の減少に伴い、大幅増益の17億5,200万円となりました。

経常利益は、「持分法による投資利益」の増加により、23億6,300万円となりました。

親会社株主に帰属する 四半期純利益は、経常利益の増益により、22億4,300万円となりました。

連結販管費内訳

広告宣伝費：増加

人件費：子会社の連結除外、開発費：学校DX事業での開発コスト改善

(単位：百万円)	FY2023 3Q累計	FY2024 3Q累計	前年同期比		
			金額	増減率	
販管費総額	13,661	13,340	△320	△2.3%	
広告宣伝費	1,569	2,012	+442	+28.2%	AdGuard向け販促費の増加
人件費	5,904	5,409	△495	△8.4%	子会社の連結除外
支払手数料	2,223	2,135	△87	△3.9%	
外注費	1,513	1,319	△194	△12.8%	開発コストの改善（学校DX事業）
減価償却費	908	998	+89	+9.9%	
その他	1,526	1,466	△60	△4.0%	

販管費内訳はご覧のとおりです。

全体で前年同期比2.3%減少の133億4,000万円となりました。

コンテンツ事業における広告宣伝費が増加した一方、人件費が縮小したこと、また、学校DX事業において開発が落ち着き、外注費が減少したことによるものです。

通期業績予想の修正

すべての予想を上方修正

(単位：百万円)	FY2024 通期 (直近予想)	FY2024 通期 (今回予想)	差異	
			(百万円)	(%)
売上高	27,000	27,500	+500	+1.9%
営業利益	1,800	2,200	+400	+22.2%
経常利益	2,250	2,750	+500	+22.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,750	2,400	+650	+37.1%

Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

6

通期の業績予想については、第3四半期の実績を踏まえ、売上高・利益ともに上方修正します。

売上高は、前回の予想からプラス5億円の275億円、営業利益はプラス4億円の22億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、プラス6億5,000万円の24億円に、それぞれに上方修正します。

セグメント別業績

コンテンツ事業

- ・コンテンツ事業
- ・エンタメ・ライフ系コンテンツ
- ・セキュリティ系コンテンツ
- ・オリジナルコミック事業



ヘルスケア事業

- ・女性向けヘルスケア事業
- ・子育てDX事業
- ・クラウド薬歴事業
- ・オンライン診療サービス 他



CARADA 電子薬歴
Solamichi

学校DX事業

- ・学校DX事業

BLEND



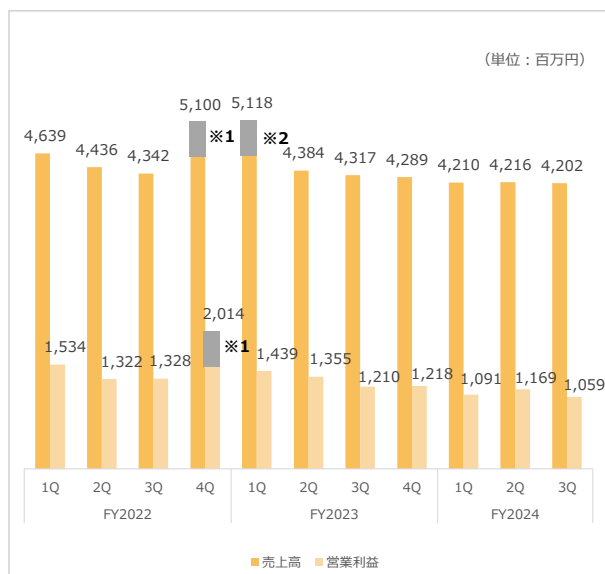
その他事業

- ・AI事業
- ・DX支援事業
- ・法人向けソリューション



続いて、セグメント別業績についてご説明します。

コンテンツ事業：売上高・営業利益



Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

直前四半期比

売上高横ばい

有料会員数横ばい

直前四半期比

営業利益横ばい

広告宣伝費増加

特殊要因

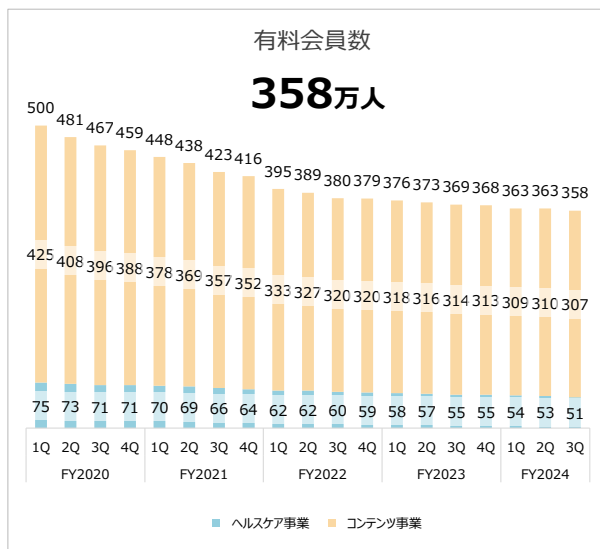
- ※1：売上高・営業利益717百万円：
ポイント付与型月額コンテンツにおける消費税処理の変更
- ※2：売上高739百万円：
動画配信のスポット売上計上

コンテンツ事業の四半期推移は、ご覧のとおりです。

有料会員数は横ばい状態となっているため、売上高・営業利益ともに横ばい傾向が続いています。

第3四半期の売上高は42億 200万円となり、営業利益は10億5,900万円となりました。

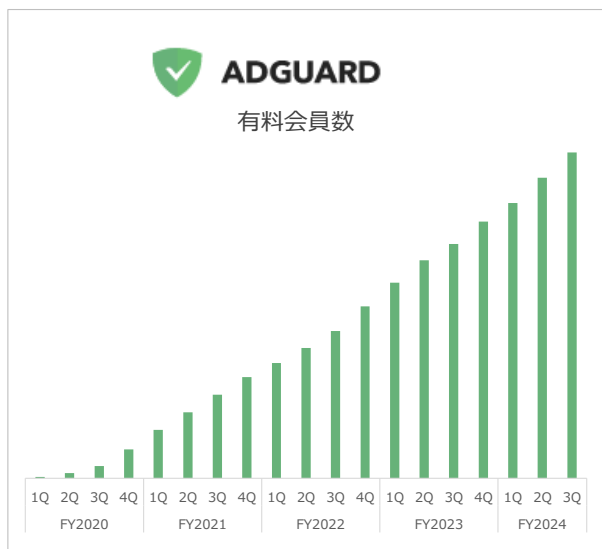
コンテンツ事業：有料会員数



有料会員数
横ばい
セキュリティ関連アプリ好調

ヘルスケア事業会員数も含めた合計有料会員数は、6月末時点で358万人となりました。

コンテンツ事業：セキュリティ関連アプリ

セキュリティ関連アプリ
好調続く有料会員数 **85万人**

4つの機能



広告ブロック



追跡ブロック



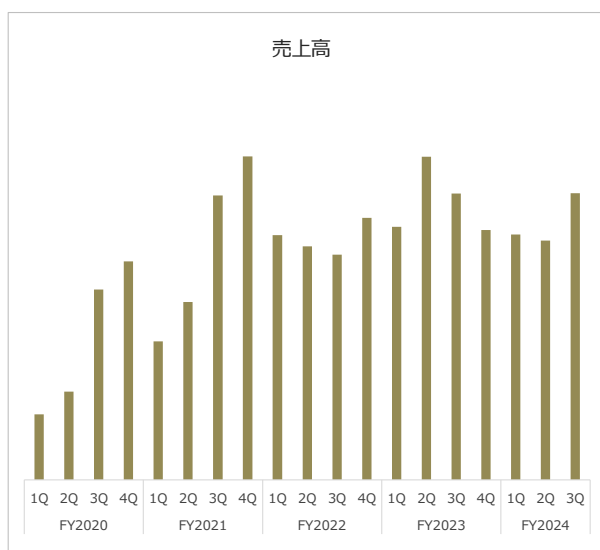
脅威ブロック

ペアレント機能
(子どもの保護機能)

セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の新規入会者数は好調に推移しています。

有料会員数は6月末で85万人となりました。

コンテンツ事業：オリジナルコミック



オリジナルコミック事業 安定推移

- ・ 作品投入数維持
- ・ TVドラマ作品の好調

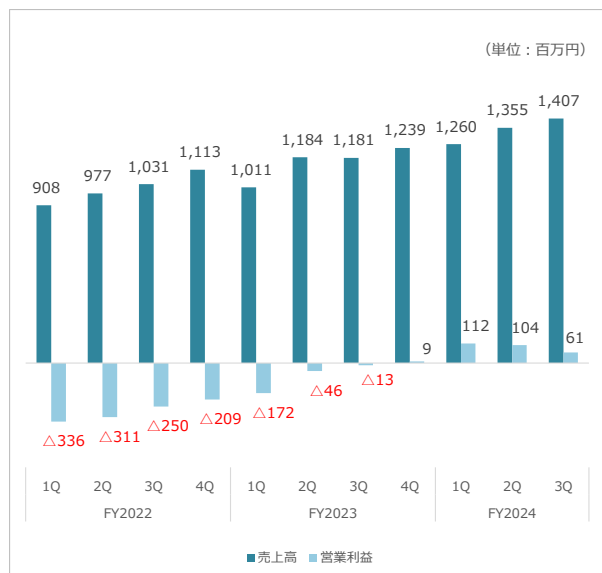
Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

11

オリジナルコミック事業は安定的に推移しています。

人気作品のTVドラマ化効果によりダウンロード数が一時的に伸びると売上高も急増します。TVドラマ化後は反動減がありますが、全体では安定しています。

ヘルスケア事業：売上高・営業利益



直前四半期比

売上高伸長

直前四半期比

営業利益黒字基調

・クラウド薬歴好調

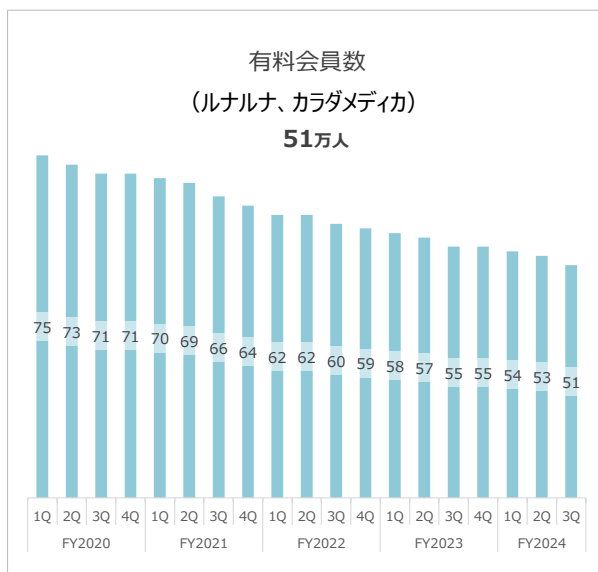
Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

ヘルスケア事業の売上高は、14億 700万円となりました。

クラウド薬歴および子育てDXサービスは順調に推移し、売上高は着実に積み上がっています。

営業利益は、前期の第4四半期から黒字が続いています。直前四半期比では減益となりましたが、増収効果および販管費抑制効果が続き、6,100万円となりました。

ヘルスケア事業：月額コンテンツサービス



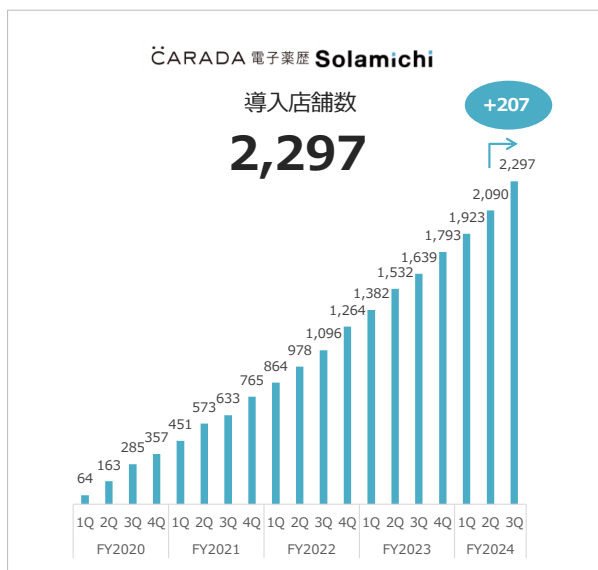
月額コンテンツサービス

有料会員数

横ばい

ヘルスケア事業の有料会員数は、横ばいの51万人となりました。

ヘルスケア事業：クラウド薬歴



Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

クラウド薬歴

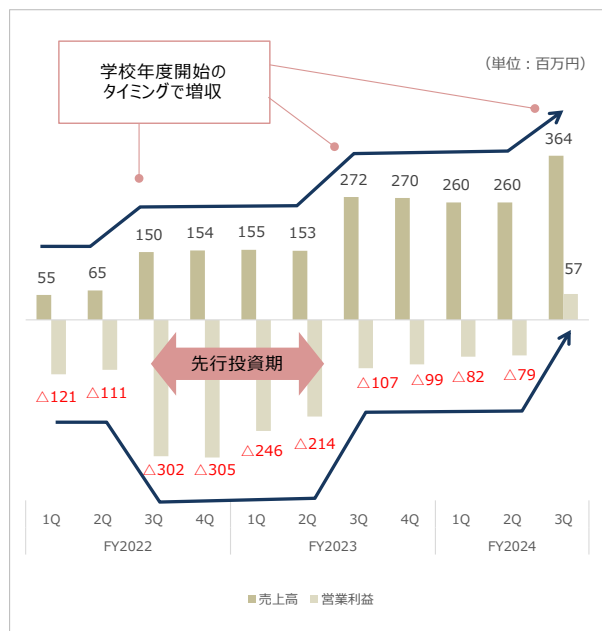
導入店舗数

順調に拡大

四半期ベースでは過去最高

クラウド薬歴の導入薬局数は順調に拡大しています。四半期ベースでの新規導入数は207店舗と過去最高となり、累計2,297店舗となりました。

学校DX事業：売上高・営業利益



直前四半期比

売上高拡大

直前四半期比

黒字転換

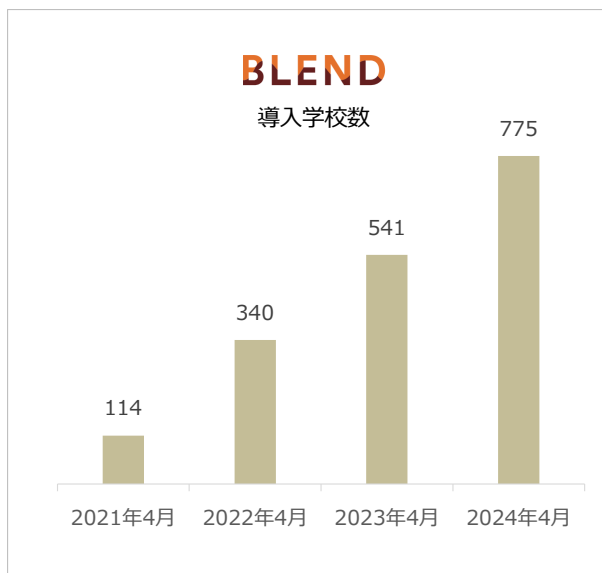
前年同期比 赤字大幅縮小

Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

学校DX事業の売上高は、3億6,400万円となりました。

フルクラウド型校務支援システ『BLEND』は、学校の新年度に合わせて導入されるため、4月の導入学校数が急増したことにより、直前四半期比で増収となりました。

営業利益は、5,700万円となりました。増収効果と開発費の縮小により、第3四半期において黒字転換することができました。



導入学校数 好調に推移

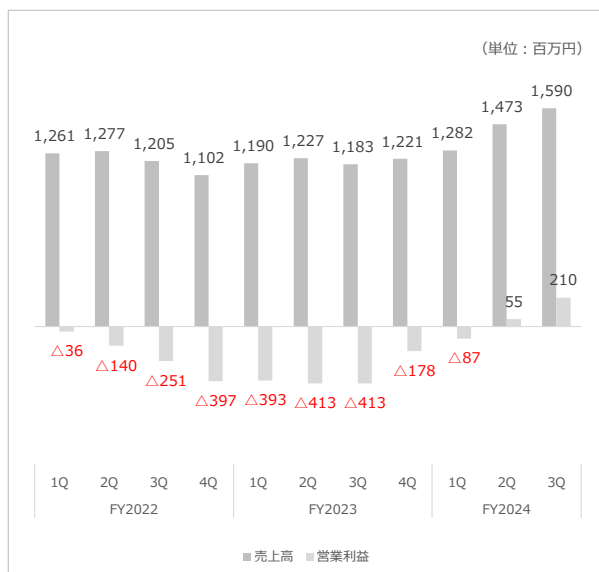
私立高校シェア

35%まで拡大

Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

導入学校数は順調に推移しており、累計775校となりました。
私立高校のシェアは35%まで拡大しました。

■ その他事業（法人向けDX支援、AI等）：売上高・営業利益



直前四半期比

売上高伸長

法人向けDX支援事業の受注拡大

直前四半期比

営業利益黒字基調

法人向けDX支援事業の受注拡大

その他事業の売上高は15億9,000万円となり、営業利益は2億1,000万円となりました。

法人向けDX支援事業の受注拡大により売上高が伸長し、第2四半期より営業黒字が拡大しました。

以上が、第3四半期の決算概要です。

今後の取り組み

続いて、今後の取り組みについてご説明します。

1. ヘルスケア事業**さらなる売上成長**

- ・クラウド薬歴事業のさらなる拡大
- ・子育てDX『母子モ』のプラットフォーム戦略推進

2. 学校DX事業**さらなる売上成長**

- ・導入学校数拡大

3. コンテンツ事業**利益確保**

- ・セキュリティ関連アプリ成長
- ・オリジナルコミック事業成長

各セグメントにおいて、それぞれ次の基本方針のもと、重点課題に取り組んでいます。

・ヘルスケア事業では、さらなる売上成長を目指し、通期の黒字化を実現させます。

具体的には、クラウド薬歴事業の更なる拡大に取り組むとともに、子育てDXのプラットフォーム戦略を推進していきます。

・学校DX事業においても、さらなる売上成長により、下期の黒字化を目指していきます。

・コンテンツ事業においては、月額有料会員数が横ばいで推移している中、セキュリティ関連アプリ、およびオリジナルコミック事業の成長を通じて、セグメント全体での利益を確保していきます。

ヘルスケア事業：今後の取り組み

調剤薬局と患者をつなぐ

クラウド薬歴

CARADA 電子薬歴 Solamichi



薬局向けBtoBサービス

子育て世代と自治体・病院をつなぐ

母子手帳アプリ

+

子育てDX



自治体向けBtoBtoCサービス

ヘルスケア事業のうち、クラウド薬歴事業および子育てDXサービス事業に関する取り組みについてご説明します。

新機能サービス 自動要約機能が好評

更なる業務効率の改善へ

服薬指導ナビゲーション + AI自動要約機能

その他の機能

- ・他店舗間薬歴連携機能
- ・加算ロジック
- ・在宅・介護向け機能
- ・電子処方箋対応 他 随時追加予定

● 営業連携の強化も継続 ●

医薬品卸大手との協業  メディパルホールディングス



※ 「corte」（コルテ）は、当社子会社株式会社ソラミチシステムと株式会社corteの共同開発です。

※ 「corte」は、株式会社corteの商標登録です。

クラウド薬歴事業では、調剤薬局の導入店舗数が順調に拡大しています。

法改正に伴う機能強化のみならず、薬剤師の業務効率を改善する機能も随時開発しています。

4月より、AI薬歴作成支援機能を追加しました。

薬局における薬剤師と患者の会話を録音し、その服薬指導の内容の中から、薬歴に必要な情報を項目別に分類し、自動で要約を作成します。

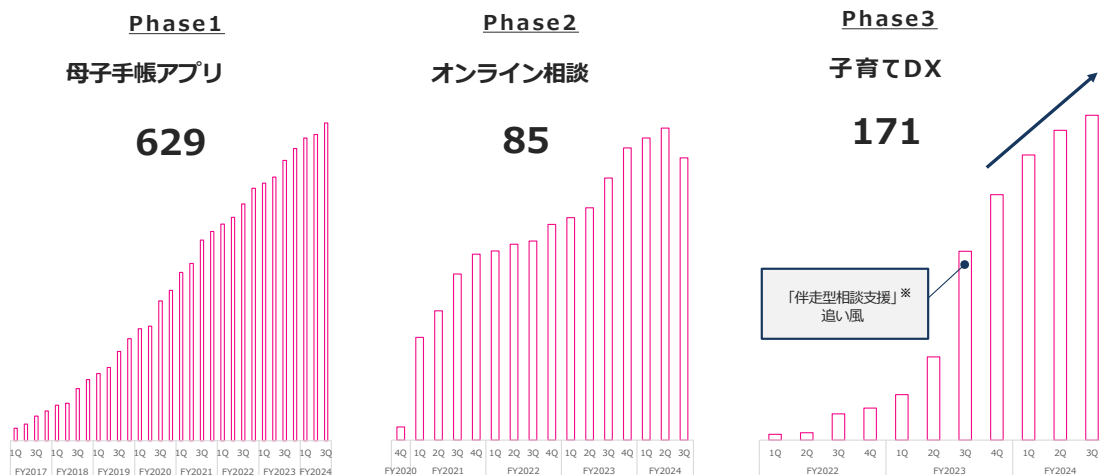
これまでの「服薬指導ナビゲーション」の機能と併せてご利用いただくことにより、さらなる業務効率の改善が期待できます。

実際に利用される薬剤師の方々にも好評です。

引き続き、医薬品卸大手のメディパルホールディングス様との協業も強化しつつ、調剤薬局に対し、これらの新機能の利便性を伝えていきます。



『母子モ』利用自治体の子育てDXサービス導入は順調



Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

22

母子手帳アプリ『母子モ』は全国市町村の35%に導入されています。6月末時点の導入数は、629となりました。

オンライン相談サービスはコロナ禍後の需要が落ち着いたこともあり、導入数は85と減少しました。

一方、子育てDXサービスの需要は引き続き高い状態が続き、6月末時点で延べ171まで増加しました。

政府による子育てサポートに関するデジタル化・DX化を支援する動きが追い風となっています。

ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

 **子育てDXサービス**

- ・ 質問票・予約票機能
- ・ 小児予防接種 (デジタル予約票等)
- ・ 乳幼児健診
- ・ 乳児全戸訪問
- ・ 妊産婦健診・妊娠届



機能

子育て分野における自治体サービスの
デジタル化・医療機関連携

効果

データ連携により
保護者・自治体・医療機関の負担を軽減

バリュー

自治体の子育てDXを推進し
地域の「子育て」環境を改善する

「子育て支援」は社会課題の一つとなっています。

当社の子育てDXサービスは、自治体における各種サービスの手続きをデジタル化します。

デジタル化によって、保護者が書類提出をする必要がなくなります。

また、自治体と保護者のみならず、地域の医療機関ともデータ連携していますので、保護者、自治体、医療機関でのやり取りも簡素化し、手間や負担を軽減します。

今後も自治体の導入を促進することを通じて、子育てDXサービスの事業を拡大させていきます。

生徒と教師をつなぐ

フルクラウド型校務支援システム

BLEND



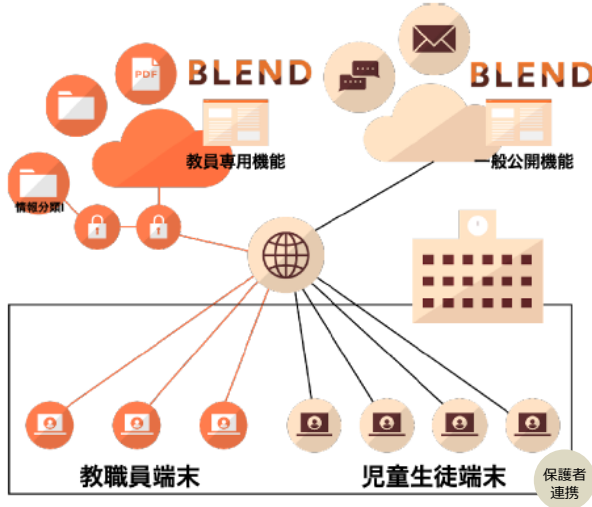
Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

24

続いて、学校DX事業について、ご説明します。

BLEND のある世界

あらゆる「負」の解消へ



機能

- ・フルクラウドでデータを一元管理
- ・教職員室に戻ることなくデータ連携
- ・保護者ともデータ連携

効果

- ・校務の作業負担を軽減
- ・システム管理費用を削減

バリュー

学校DXサービスの提供を通じて
本質的な教育に集中できる環境を整える

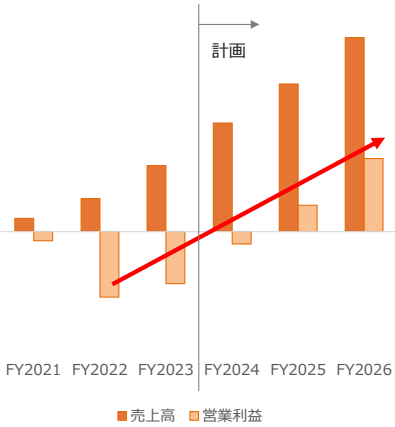
『BLEND』は、「校務」の非効率をなくす、画期的なフルクラウド型の校務支援システムです。

フルクラウドなので、学校内だけでなく、必要に応じて保護者との情報連携もできます。

教師は、職員室に戻らずその場でデータを入力できるので、複数の校務データを一括管理することができます。

リアルタイムでデータ連携できるだけでなく、管理コストも改善します。教師の業務負担を減らすことにより、より本質的な教育に集中できる環境へとサポートします。

中期的な収益イメージ



引き続き導入学校数拡大へ

成長機会

- ・ 2025年4月導入見込み案件の積み上がり
- ・ 政府による都道府県域での校務DX推進

差別化

フルクラウド型一括サービス

学校DX事業の中期的な収益イメージはご覧のとおりです。私立学校の、フルクラウド型校務支援システムに対する導入意欲は依然高い状態が続いています。

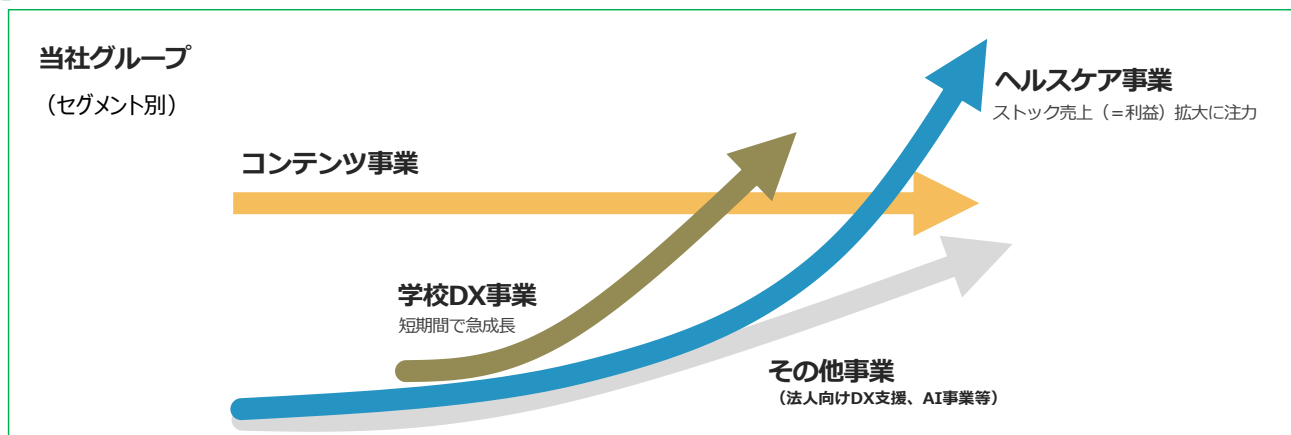
来年4月導入に向けた新たな案件も、順調に積み上がっています。政府による都道府県領域での校務DXの推進も進んでおり、外部環境はプラスとなっています。

「フルクラウド型」という優位性を強みに、導入学校数をさらに拡大させていくことによって売上・利益成長を実現していきます。

中期的な収益イメージ

続いて、中期的な収益イメージについてご説明します。

中期的な収益イメージ



収益への影響要素

ヘルスケア事業	政府による母子保健情報のデジタル化・DX化推進 ⇒ 全国市町村での電子母子手帳・子育てDXの導入加速 (子育て環境の改善は喫緊の課題)
学校DX事業	政府による都道府県域での校務DX推進 ⇒ フルクラウド型校務支援システムの導入加速 (校務の効率化は喫緊の課題)

Copyrights (c) 2024 MTI Ltd. All Right Reserved

中期的な収益イメージは、ご覧の通りです。
当社グループは、コンテンツ事業のキャッシュカウを源泉として、ヘルスケア事業、学校DX事業に資源を集中投資してきました。

短期的には、学校DX事業が最も早く事業成長すると見込んでいます。
学校DX事業は、当第3四半期において黒字に転換させることができました。
今後も引き続き『BLEND』の導入学校数の拡大に取り組んでいきます。

ヘルスケア事業は、長年にわたる事業育成の成果が見え始め、当期の第1四半期からようやく黒字化させることができました。
クラウド薬歴、子育てDXを牽引役として売上成長を図ることにより、通期の黒字化を計画しています。
中期的には、ヘルスケア事業が利益成長の牽引役となると考えています。

各事業のストック売上の拡大を通じて、グループ全体で「持続的な成長」の実現を目指していきます。

ありがとうございました。



〈お問い合わせ先〉
株式会社エムティーアイ IR室
e-mail:ir@mti.co.jp
<https://ir.mti.co.jp>

説明は以上になります。
ありがとうございました。